



八鄰。日月。三世。我民。詳。上。記。廿。一。中。以。

子云後方く必免く加てて極
 此れにおかぬ事といふは人
 るれに実語録毫子に
 聖におすくうん

紙の半換
文素を
地

文素の足と板板有りとて子連ふ
見たるが如くは状より地いふ月の文素二月
又素と順といふ二月に月十三年七月
又素十を程でも有るを時といふす
おろくにお忘れられたる利又素
二ケのけり名あみかけおとし状のを
半先になんかきこもいたしおめ
はあたまさうなるや

高貴所來

九高書持板之字

救世老日記文選

德安府志

仕既之學也

新刊

卷之五

高貴性来よと
凡高貴持扱文
字貞教取也
月記陀文海
江五箇入算用
膳目録仕切
也先友智金
二条金位品
鑑上編

一、豆、小豆、大豆、黑豆、
 与、赤豆、白豆、黑豆、
 同、分、厚、薄、
 秤、を、り、て、分、別、
 相、違、ふ、刻、度、賣、
 買、せ、し、む、き、也、難、
 穀、粒、指、平、指、晚、
 指、古、米、新、米、麦、
 大豆、小豆、赤豆、黑豆、
 麦、粟、黍、稷、胡、麻、
 荏、菹、

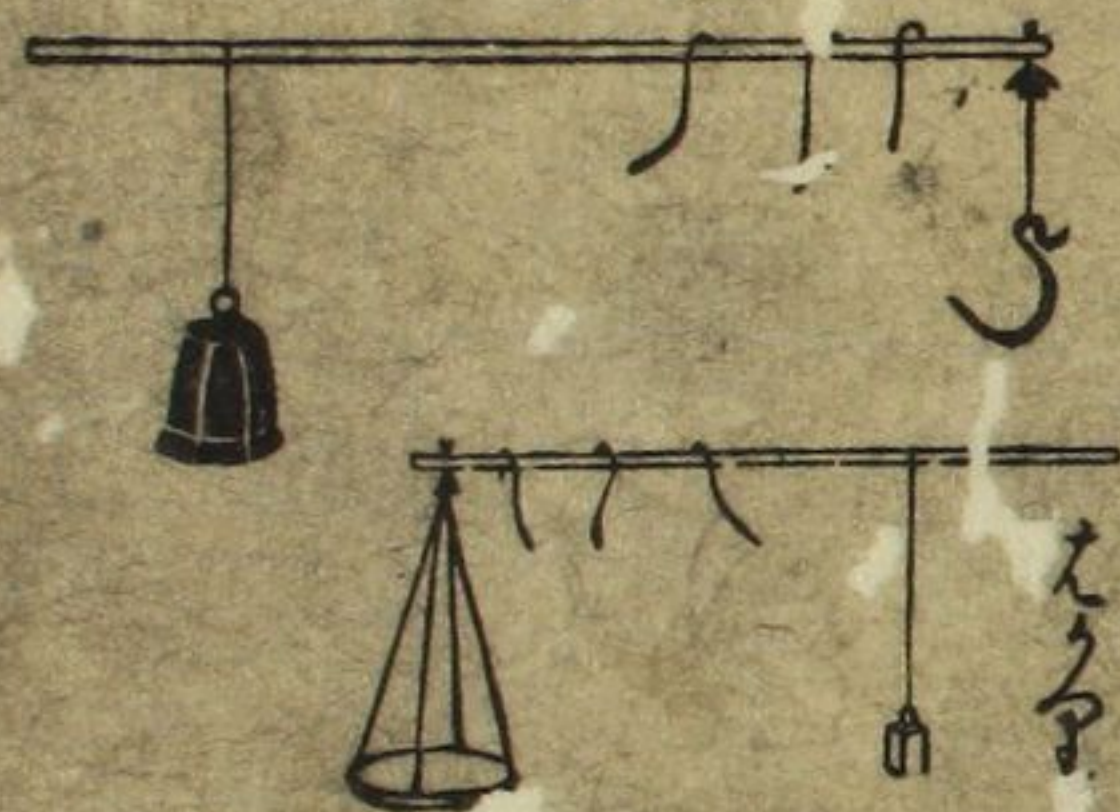
皇極廣學堂
子貴自今堂之新
天祥分烟膏相送家
可令堂常此雅意
早瑞旺福古義新
大皇小皇今皇
泰和四年

五言古詩

大判 小判 歩高 銀上 子銀 原



きち



秤 天



晩ニ 揃セ 早ニ
揃テ



授 指



之 滑



菜種血和救世積
 中同原之積入量
 反お湯ききあせ
 砂と重拂きあて
 運賃水口残指
 お虎初合利
 程どのく出へ損
 失おどろいど家
 へ一破有味噌酒
 湯油桶燭

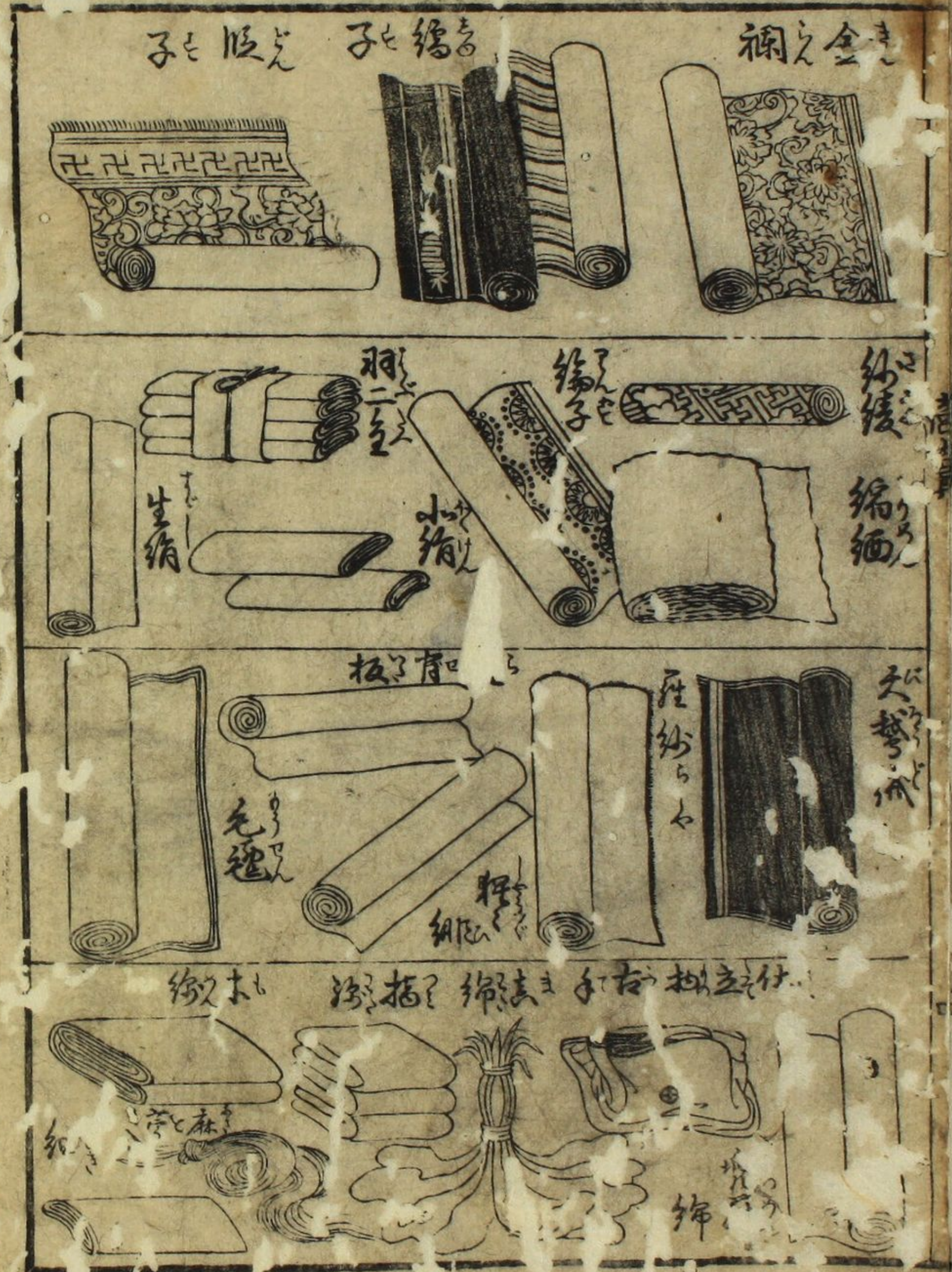
救世積中同原之積入
 並同合並反お湯き
 砂と重拂き運賃水口
 指どのく出へ損失
 多程出合有損家
 へ一破有味噌酒
 湯油桶燭

等處以不依布之類
稠縐子縐子縐縐縐縐
子縐子縐子縐子縐
縐縐縐縐縐縐縐縐
縐縐縐縐縐縐縐縐
縐縐縐縐縐縐縐縐
縐縐縐縐縐縐縐縐



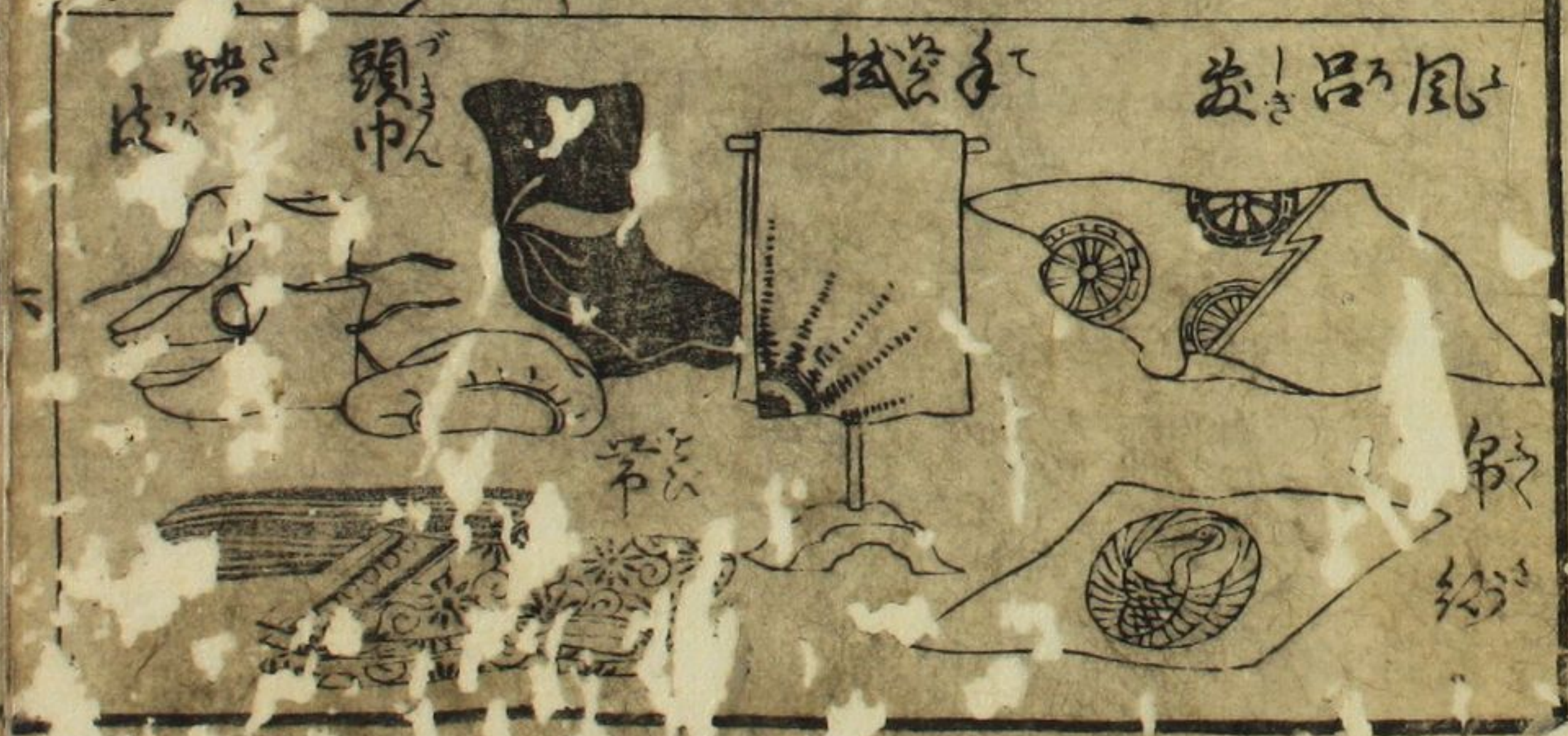
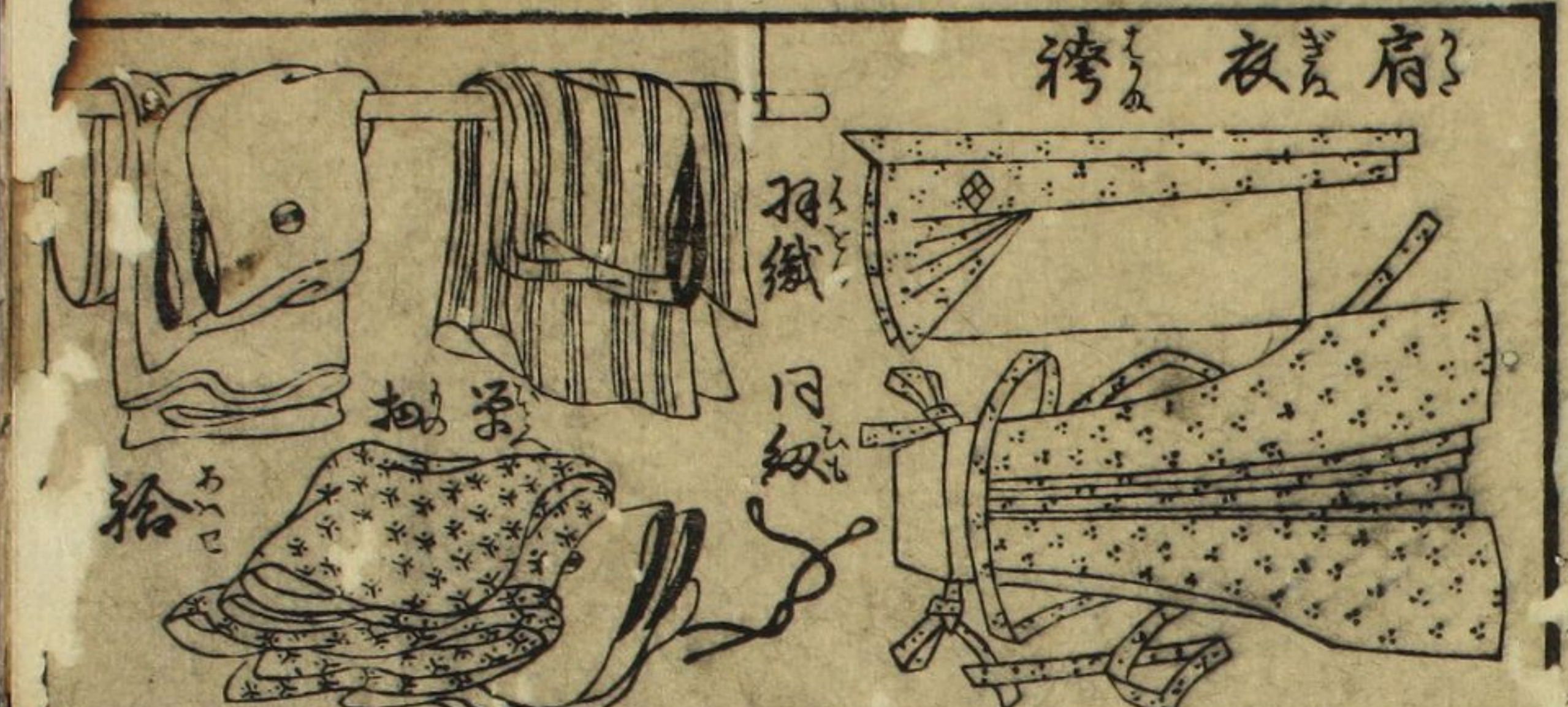
羽織同細給子也
 帷子夜着蒲團
 蚊帳浴衣風呂敷
 手拭帛紗帶帶
 踏皮草漆之緋花
 足袋皮之紫袴
 金木絨漆黄茶
 漆前黄蔴袴蒲
 紅粉霞之緋入紋
 終所離之立

羽織同細給子也
 夜着蒲團
 蚊帳浴衣風呂敷
 手拭帛紗帶帶
 踏皮草漆之緋花
 足袋皮之紫袴
 金木絨漆黄茶
 漆前黄蔴袴蒲
 紅粉霞之緋入紋
 終所離之立



漢軍打金銀
 所新車次保比
 宿美福遠九曜眉
 結菊桐柏着巴着
 唐草女帝好模
 拾拾好名好一武
 古用具主家多
 少とも有増い分号
 葉鉄炮漆長刀漆
 禮兜鍪泥漆刀

立浪名乃安武所
 車江馬地銀美輪遠元
 唯四目結菊桐柏着巴着
 唐草女帝好模拾拾
 好公持武主用具主
 攻攻有増い分号葉鉄
 炮漆長刀漆禮兜鍪泥漆





火鑪子腰腰帶軟
 鞍履鞍子繩板又
 刀服指子指目貫數
 繩柄既瑞鞘雅招
 鷗目袴其好小志
 巾赤羽衣漆臈
 金素羽衣象服若
 級服物之細工
 取時も同俗
 魚兒也市物

泥濘切付響字後漢書
鞞鞍履鞞字繩叔又刀
眼指之指目其義鞞爲
以猶鞞切如鞞同鞞
陸其好本鞞字義鞞主
素鞞爲名眼字後漢書
之鞞字如鞞字後漢書

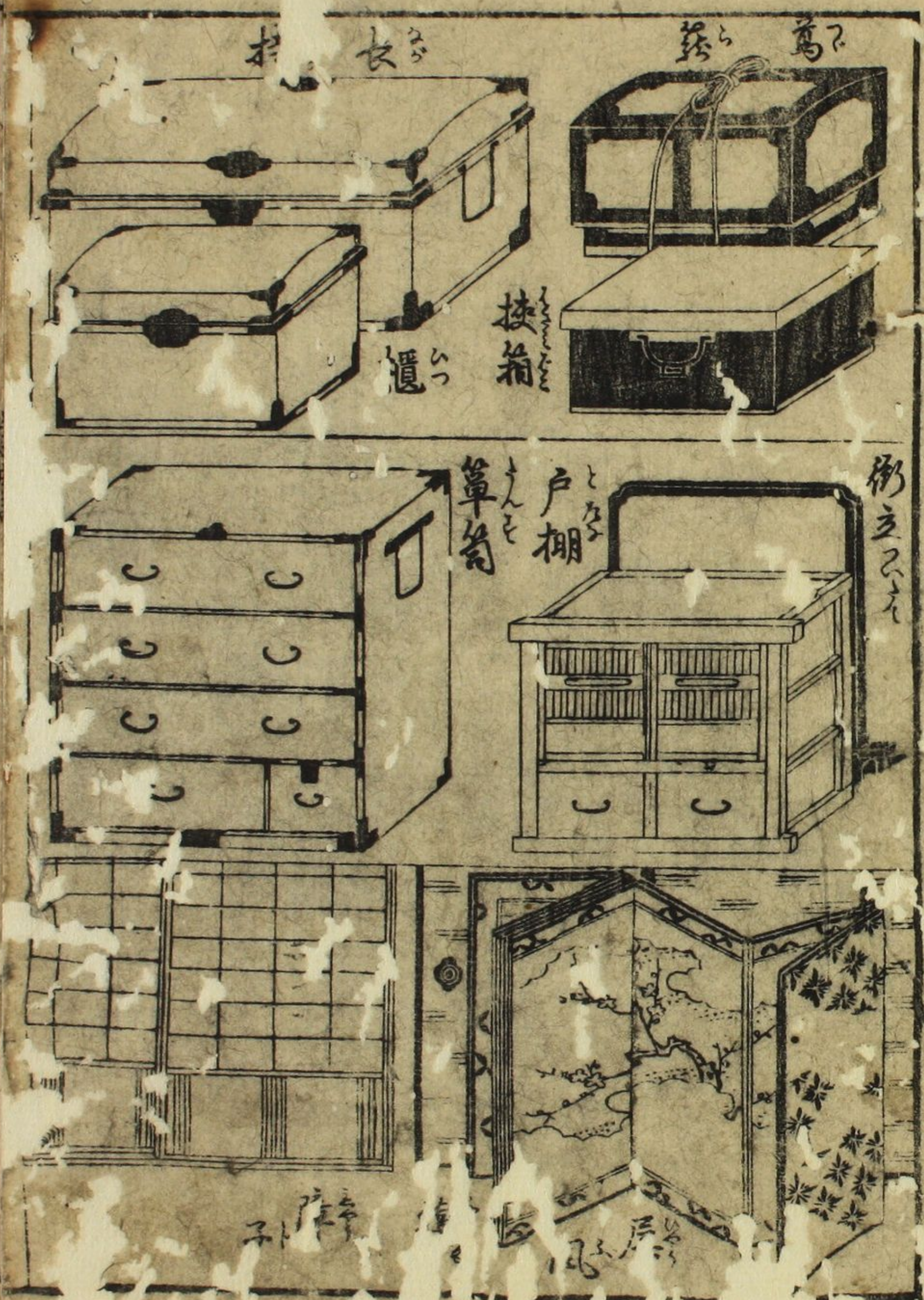
櫃戸棚多奇屏
 同御立櫃陳子簾
 縹幕梳妝湯桶
 切立衣箱食鉢室
 箱梳篦以卷四拜
 至同端強利楊庖
 丁生貯箸燭臺
 燈挑灯燈臺
 茶罐多茶碗茶
 瓶水盃標塔志雅

巾着次雅々首飾校
 和長持挂戸棚多奇
 屏風御立櫃陳子簾
 縹幕梳妝湯桶切立
 衣箱食鉢室箱梳篦
 以卷四拜至同端強
 利楊庖丁生貯箸燭
 臺燈挑灯燈臺茶罐
 多茶碗茶瓶水盃標
 塔志雅



確其版羽編美華
 本履多真下並財和
 具合賣買くろんこ
 也某海多具事
 仙所磨香粧腦樟
 腦沉香人參黃耆
 林州肉桂丁子川芎
 白檀黃連高降巴豆
 蓮肉紫粉山亮苗
 香陳皮桂枝三棱

批山機架架架架架
 確其版羽編美華
 本履多真下並財和
 具合賣買くろんこ
 也某海多具事
 仙所磨香粧腦樟
 腦沉香人參黃耆
 林州肉桂丁子川芎
 白檀黃連高降巴豆
 蓮肉紫粉山亮苗
 香陳皮桂枝三棱





我本素子子素系
 子貝母子自友天
 素子素子素子素
 麻黃續斷子素考
 大戟根殼白芷石
 斛阿膠羌活太黃根
 子子杏仁桃仁河
 仙茅硫黃白礬煅
 附子遠志砂礬素
 松葉散素膏素

丁子川馬白樺木連商
 歸巴豆連肉紫柏山虎
 苗香蘇以桂枝板板板
 本素子子素子素子
 本素子子素子素子
 麻黃續斷子素子素
 附子遠志砂礬素
 松葉散素膏素



海老汁 万入り
 現物 御膳 塩
 干鰯 煮海 煎 鱈
 百身 鰯 塩 煎 鱈
 節 鰯 塩 煮 鱈
 名物 海老 汁
 てあま 瓜 汁 煮 鱈
 塩 煮 鱈 汁 煮 鱈
 塩 煮 鱈 汁 煮 鱈
 塩 煮 鱈 汁 煮 鱈

名物 海老 汁 煮 鱈
 竹 魚 鰯 塩 煮 鱈
 鰯 鰯 塩 煮 鱈
 菜 螺 蛸 海 月 西 瓜 汁
 物 塩 煮 鱈 汁 煮 鱈
 干 鰯 煮 海 煎 鱈
 月 身 鰯 塩 煎 鱈

大いふ字と云ふ
 いふに相多ふ
 せむ也抑高臺
 中ふうやう軍
 初雅し時う先
 多氣美術と梅
 肝系うき者也
 然る初連言俳諧
 立毛蹴鞠湯
 儒術教と新筆

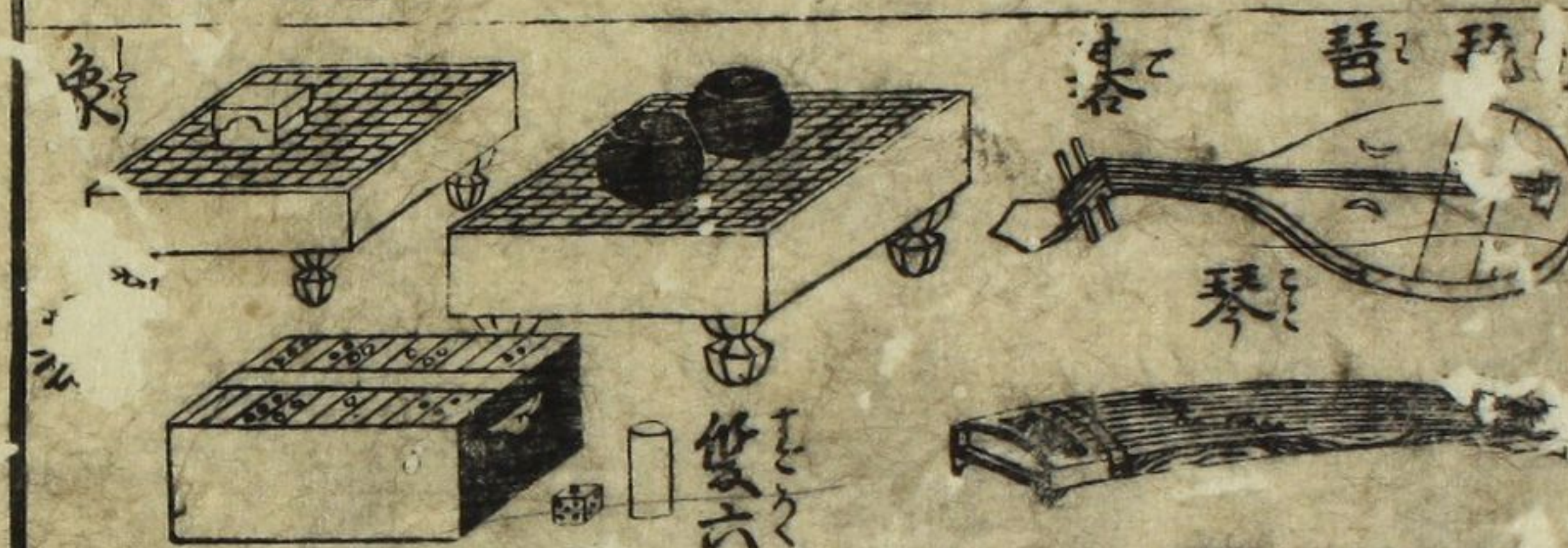
長生補國と云ふ
 除限今國と云ふ
 長生補國と云ふ
 除限今國と云ふ
 長生補國と云ふ
 除限今國と云ふ
 長生補國と云ふ
 除限今國と云ふ





此乃天所降之寶
 其家業餘力所
 可為也
 或大為秦後六
 少有三條線酒
 其具小者
 其限小者
 其家宅之
 其家宅之
 其家宅之

此乃天所降之寶
 其家業餘力所
 可為也
 或大為秦後六
 少有三條線酒
 其具小者
 其限小者
 其家宅之
 其家宅之
 其家宅之



商人の合目と度計
は中々文脈先用度
お潤い但し高貴
依てまゝの不習を
あゝる合目むけ中
内と不用大一通も
裁に

婦人用人用白ひ合 収救海と化し
 次子程依状恒状濕雜なく一不集め
 奥奥何より見舞とイふに之け
 一通もゆきだを履分ち能て夜牙
 ち毎の夜を色てふとふととあ救去哉
 熱白百十二海と流用と妹お洲中い

高人書狀藏

御定流
 也
 字用

全部全冊

教實緒教

全志冊

少子用ひられぬ

教訓
教高
教要
教

疎近
往國入

之庭州とバト標標工変を

徳教とくけうは天壤てんりやうの別わかれず書かきふべからず

たやとせうき

早字節用集


但字と云く大増補の書

小本金匱冊

是をてんぐと教板あるにてもはト
 日どもひそそ給教同く誤りまふて
 い字の言ふは分丁教ある其の字の
 まゝの初分なりて傳ふ丁付とあるは是れ字
 としむればある其字とあるは、水様の物とあるは、

懷中ノ小本ノ走冊

安
情
明
神
鑑

平と懷中もろ付と海山を圖中も何より
 目くの一何  式文をもろへあ付よと
 人とのあやまを先一のい書なり

火と要は身一と書

花紅葉都錦

全一冊

德園入

天明八年甲子正月廿日糸師の火災と要記し時
考列記の連連内裏炎上高堂の御被神社井
堂塔伽藍及び二子屋丁の閑家焼失并法園又
焼張の文寺閑家難有も市仁恵く是沢そ世
置所く建修せられ安く居る又始く是の尾は法
家く待すともふりてあるに

師匠入塾後

教庭訓 全冊

試交新板

附外子一歲年正月

唐荆川先生と昨四のほどより存主でし書に
 文字の心を皆く悟りて、其上かた付
 此のみに方としかるなり。好む方としかる
 利る合意はう至極とまでいひて漏るを
 此の唐荆川先生とては、中絶する事なく、
 しからず能おかりの事あらば、永く致し

師匠
西文
西文

お入店初はつだんと目めに換か儀ぎ之の支し度ど

古今事考

書也
實證疫毒子刑

商賈性來全冊

教
卷
訓
讀
方
圖
彙
性
集

小みぬ入と何とて
 ちやともやうなふと

此之品也子とて西傳せしふ人なり
根傳尺五寸五分

書物類

何より、故至今
 卷上、久遠年
 宜用、品更

系六

古

